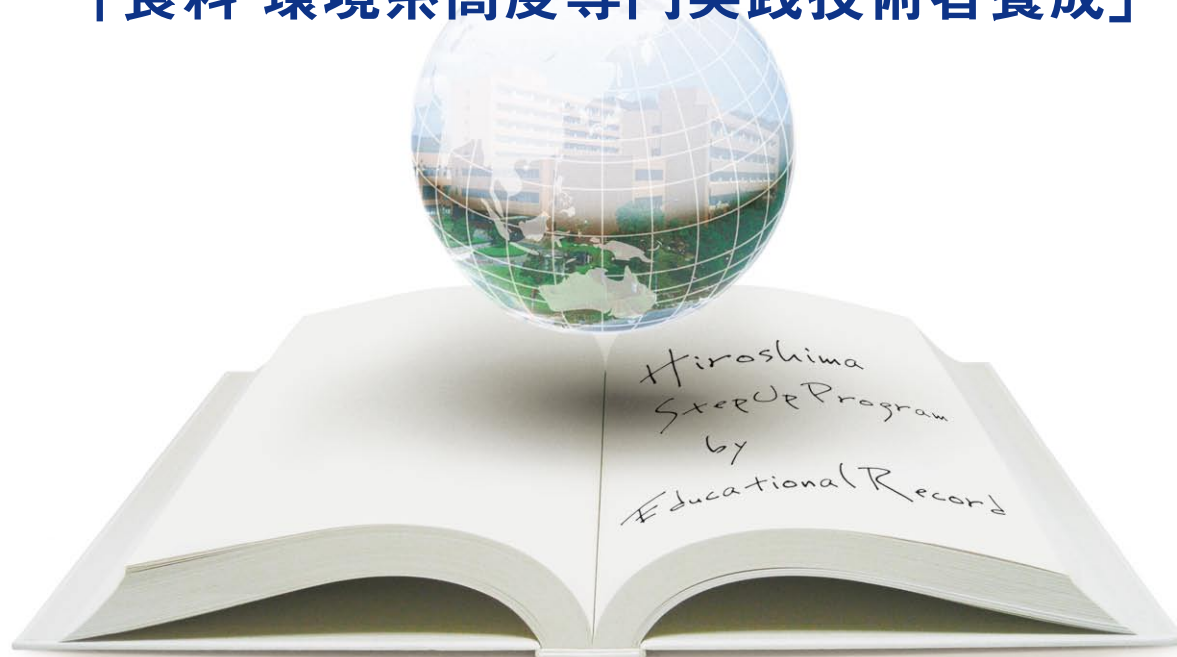


広島大学大学院生物圏科学研究科



総括報告会

「食料・環境系高度専門実践技術者養成」



2011
1/28 FRI

入場
無料

13:00～16:35(受付12:30～)

会 場

広島大学
生物圏科学研究科
C206 講義室

対 象

学内外教職員
学生／一般

主 催

広島大学
大学院生物圏科学研究科

	内 容
	講 演
第1部	「国立大学の機能と大学院教育」 島 一則 氏（高等教育研究センター 准教授）
	「グローバルインターシップ推進室の形成」 肥後 靖 氏（大学院国際協力研究科 教授）
	成果報告
第2部	●サブセメスター制について ●教育記録システムについて ●国際性の涵養について ●大学院GPの活動成果と今後の課題
第3部	総合討論&総評

本プログラムの概要

教育記録システムによるステップアッププログラムHiSuper(Hiroshima Step Up Program by Educational Record)により、多様な能力・進路・将来設計をもつ学生に対する食料・環境系の高度専門実践技術者教育(スペシャリスト・ゼネラリスト融合型人材育成)を行います。本取組により、組織的かつ体系的な教育課程の編成を行います。

 教育記録システムによる  プロセス管理の徹底	学生の自立的なコースワークへの取組支援と教員の指導力向上を図ります。
 ステップアッププログラムによる  体系的な教育課程の実施	各ステップの到達目標を順次達成することにより、基礎から専門に至る各段階の知識と技能を確実に習得させます。
 サブセメスター制の導入による  基礎力・応用力の強化と分野俯瞰力の養成	1セメスターを2分割したサブセメスター制を導入し、基礎から応用に至る広い分野の科目の履修を可能にします。
 実践科目の導入による課題解決能力及び  応用展開能力の涵養	専攻間の連携による実践科目を開講し、多角的な視野と柔軟に問題に対応できる能力を養います。食料・環境系高度専門実践技術者・研究者としての課題解決能力及び応用展開能力を養います。

	プ ロ グ ラ ム	
--	-----------	--

【司 会】島本 整 (大学院生物圏科学研究科 教授)

13:00～13:05	開 会 挨 拶 上 真一 理事・副学長(教育)	
第 1 部	講 演	
13:10～14:10	演 題 「国立大学の機能と大学院教育」 講 演 者 島 一則 氏 (高等教育研究センター 准教授)	
	演 題 「グローバルインターシップ推進室の形成」 講 演 者 肥後 靖 氏 (大学院国際協力研究科 教授)	
第 2 部	成 果 報 告	
14:20～15:30	サブセメスター制について	•羽倉 義雄 (大学院生物圏科学研究科 教授) •大学院生
	教育記録システムについて	•古澤 修一 (大学院生物圏科学研究科 教授) •大学院生
	国際性の涵養について	•前田 照夫 (大学院生物圏科学研究科 教授) •大学院生
	大学院GPの活動成果と今後の課題～院生アンケート調査を踏まえて～ 研究科教育改革推進委員会	
第 3 部	総合討論 & 総評	
15:40～16:30	総 合 討 論	講演者、報告者
	総 評	外部評価委員 高井 陸雄 氏 (東京海洋大学 名誉教授 前学長) 青木 孝良 氏 (鹿児島大学 名誉教授 前研究科長) 森松 文毅 氏 (日本ハム株式会社 中央研究所長)
16:30～16:35	閉 会 挨 拶	江坂 宗春 生物圏科学研究科長

お問い合わせ先

広島大学大学院生物圏科学研究科
運営支援グループ(総務・財務)

TEL : 082-424-4376 FAX : 082-424-2459
E-mail : sei-bucho-sien@office.hiroshima-u.ac.jp